

# 第3回「豊中駅前」の歩行環境に関するアンケート調査」結果報告

## 3. 銀座通りや一番街の利用

豊中駅前まちづくり推進協議会

### (1) 目的

銀座通りの利用で多い目的は、銀行・郵便局など（33%）や最寄品の買物（27%）となっています。しかし、その次に多いのは、利用しない（通過のみ）になっている点に留意が必要です。今回の調査結果で、豊中駅前の周辺施設の利用目的の回答者数と比べても、買物では、駅前79人に対して銀座通りや一番街（最寄品+買回り品）60人、飲食でも、駅前36人に対して銀座通りや一番街は22人と少なくなっています。

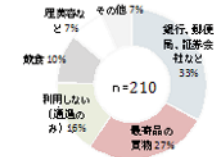


図 銀座通りや一番街の利用目的

### (2) 頻度

銀座通りや一番街の利用頻度は、ほぼ毎日の方が18%、ほぼ毎週を加えても54%と、豊中駅前の利用頻度と比べると低くなっています。

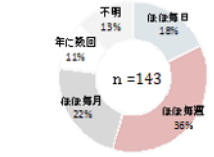


図 銀座通りや一番街の利用頻度

### (3) 利用交通手段

銀座通りや一番街を利用する際に利用する主な交通手段は、徒歩が60%、自転車が27%で、この2つの交通手段で全体の9割近くを占めます。

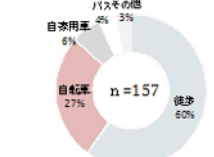


図 銀座通りや一番街への利用交通手段

### (4) 歩行環境評価

銀座通り、一番街とも、歩きにくいと回答した人が、歩きやすいと回答した人を大きく上回っています。

銀座通りの方がやや歩きやすいと回答した方が多くなっていますが、その理由として多いのは「歩道がある」です。

また、銀座通り、一番街とも、歩きにくい理由として「歩道が狭い」という回答が最も多いことは共通しています。しかし、次に多い歩きにくい理由は、銀座通りが「歩道上の通行自転車」に対して、一番街では「歩道の段差」と異なっています。

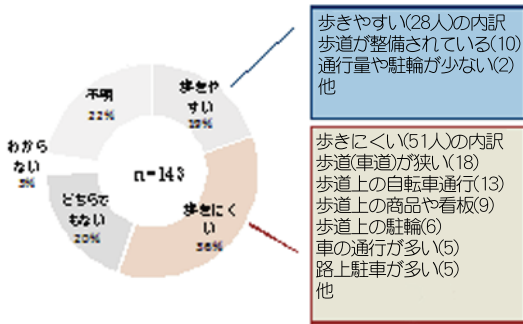


図 銀座通りの歩行環境評価

歩きやすい(28人)の内訳  
歩道が整備されている(10)  
通行量や駐輪が少ない(2)  
他

歩きにくい(51人)の内訳  
歩道(車道)が狭い(18)  
歩道上の自転車通行(13)  
歩道上の商品や看板(9)  
歩道上の駐輪(6)  
車の通行が多い(5)  
路上駐車がが多い(5)  
他

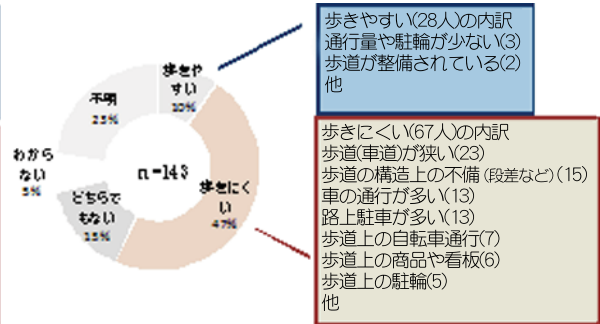


図 一番街の歩行環境評価

歩きやすい(28人)の内訳  
通行量や駐輪が少ない(3)  
歩道が整備されている(2)  
他

歩きにくい(67人)の内訳  
歩道(車道)が狭い(23)  
歩道の構造上の不備(段差など)(15)  
車の通行が多い(13)  
路上駐車がが多い(13)  
歩道上の自転車通行(7)  
歩道上の商品や看板(6)  
歩道上の駐輪(5)  
他

このアンケート結果は、4回に分けて掲載しています。全文を豊中駅前まちづくり会社内  
※ まちづくりセンターにて配布しております。必要な方はお申し出ください。

以下次号（5月3日発行予定）  
豊中駅前まちづくり推進協議会 事務局



## “ゆっくり楽しく歩き回れるまちを目指して！”

最近のまちづくりの情報をお伝えします  
●刀根山道サンデー前に建設中の「ドラッグセガミ」の第2回地元説明会が、2月24日大池コミュニティプラザで開かれました。  
本町3丁目自治会長の辻本さんからの報告では、「荷捌き用のスペースを敷地内に設ける」「客用駐車場は作らない。広告のチラシに駐車場が無いことを明記する」「開店当初は3名、それ以降は1名の警備員を常駐させ、付近の駐車場の案内地図を配布し、路上駐車や駐輪の整理にあたらせる」「歩道上には駐輪させない」との回答があり、今後、開店後の推移を見守りながら、いつでも住民との話し合いに応じるとの回答も得ているとのことでした。

●3月24日、豊中市まちづくり推進部部長へ「豊中駅前の歩行環境に関するアンケート集計結果及び改善案」を手渡し、今後の駅前のまちづくりについて話し合いました。  
市からは「刀根山道の舗装工事は9月着工に向け、7月の議会で予算の承認を得る予定である」「都そば前の改善案を4月に地元説明する予定である」との回答がありました。協議会からは今回地元で実施したアンケートを尊重し、今後とも「みんなの計画、役所の支援」の理念を大切に、市と地元とで議論・検討を総合的・継続的に進めて頂き、住民意見を十分に反映した政策を進めて頂くようお願いしました。

豊中駅前まちづくり推進協議会